



研究者名※	朴 倍暎	学位※	博士(文学)
所属※	人間社会学部 文化学科	職名※	教授
連絡先	pakub@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/read0155399		
研究分野※	哲学・倫理学、思想史		
研究キーワード※	東洋哲学、歴史哲学、社会思想史		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<p>1、「近代日本の倫理学における儒教の変容と再構築—和辻哲郎と西田幾多郎の倫理思想を軸に」 科研費、基盤研究C、2014-2019、研究代表者—朴倍暎</p> <p>2、「家族・経済・超越—近現代日本の文脈からみた共同体論の倫理学的再検討」 科研費、基盤研究B、2017-2020、研究分担者、研究代表—熊野純彦(東京大学)</p> <p>3、「東アジアにおける文明の衝突と「天」の観念の受容」 科研費、基盤研究B、2007-2009、研究分担者、研究代表—井上厚史(島根県立大学)</p> <p>4、「日本倫理思想史における情念の総合的研究～『源氏物語』を機軸として」 科研費、基盤研究C、2007-2010、研究分担者、研究代表—木村純二(弘前大学)</p>		
社会貢献・産学官連携活動等	<p>「精神史に観る韓国政治」、桜楓新報、704号、2012</p> <p>「韓国人と道徳」、日本女子大学教育文化財団桜楓会豊橋支部講演会、2013</p> <p>「日本人と韓国人の考え方の違い—儒教思想とその文化—」TAMA市民大学講演、2016</p>		
受賞歴			

研究領域	東洋哲学、日本倫理思想史、 日韓比較思想史	(SDGs)
研究テーマ※	東アジアにおける儒学思想の再構築	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 朱子学研究の観点から、東アジア三国(日本、韓国、中国)の儒学理解の傾向を分析し、それを土台に現代社会における儒学思想の意味を再考察する。</p> <p>【応用例、研究の展望】 日本儒学の場合は、伊藤仁斎や荻生徂徠など、主に近世儒学者を研究対象としつつ、朱子学との比較分析を行う。 韓国儒学の場合は、李退溪や李栗谷など、朝鮮時代の儒学者を研究対象としながら、朝鮮の朱子学(性理学)の特徴を再考察する。 中国儒学の場合は、程明道、程伊川、また朱子などを研究の対象としながら、朱子学の「原型」を再考察する。</p> <p>【研究方法の特色】 東アジア三国の、地域別の儒学研究の特徴を土台にしながら、なお、特定地域の研究に止まらずに、東洋哲学の観点から儒学思想の再構築を試みる。</p>	
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> 『儒教と近代国家—「人倫」の日本、「道徳」の韓国—』、講談社選書メチエ、p,1-204、2006 「儒教は反文明論なのか—福沢諭吉の儒教批判を中心に」、『比較思想研究』44号、2018 「易姓革命の理念と朱子学」、『日本女子大学人間社会学部紀要』32号、2022(掲載予定)など。 	
共同研究・外部機関との連携への期待		